

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第7回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

○自主的な審議で取り組むテーマについて

3 開催日時

令和7年12月17日（水）午後6時00分から午後6時40分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：上村会長、新保副会長、小川委員、上村委員、竹田委員、西巻委員、
船木委員、望月委員、渡辺委員

（委員14人中9人出席）

・事務局：頸城区総合事務所風間所長、渡邊次長、岩野市民生活・福祉グループ長、佐藤教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、加茂川主任

8 発言の内容

【渡邊次長】

・会議の開催を宣言

【上村会長】

・挨拶

【渡邊次長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・会議録の確認：竹田委員、望月委員に依頼

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、会長より議長をお願いする。

【上村会長】

次第3 自主的な審議（1）自主的な審議で取り組むテーマについて、事務局説明願う。

【渡辺班長】

自主的な審議で取り組むテーマ及び自主的な審議事項の流れについて説明

【上村会長】

事務局から説明があったが、意見等ないか。前回、他の区が審議している内容について資料を配布したところだが、頸城区でも取り組むべき事項があれば提案いただき自主的な審議として議論できたらと思っている。いかがか。

【新保副会長】

頸城区では自主的な審議として取り組むようなテーマはなかなか話題にならないところがある。前回配布された他の区が取り組んでいるテーマも様々である。個人的な意見だが地域独自の予算事業に関わる組織以外で、例えば町内会長協議会や老人クラブ連合会などと意見交換をし、その中から地域協議会で取り組むようなテーマが出てくればと思っている。このままの状態では年度が変わっても取り組むべきテーマについて意見が出てこないと思う。

【上村会長】

他にないか。

【西巻委員】

新保副会長から話があったテーマの拾い上げだが、町内会長協議会というのは全域の町内会長が集まるので、非常にいい場所ではないかと思う。南川・大養・明治の地区ごとに捉え方が変わってくると思う。意見集約は最終的にこちらでやらなければならないが、いずれにしてもテーマを絞るのは難しいと思う。

我々も自主的な審議についてテーマの拾い上げはしなければいけないが、やはり広く意見を拾えるところも含め一緒に考えてもらえればいいし、逆にそういうところで意見を拾うということは、地域協議会もこういった取り組みをしていることのPRにもなるので、その辺の兼ね合いも含めて進めてもらえればと思う。

【上村会長】

他にないか。

【船木委員】

本日配布された上越市創造行政研究所の冊子に掲載されているが、板倉区のワークショップの発表会に参加してきた。柱が6本あり、その中の移住・定住のテーマについてはアダルトチームとヤングチームに分かれて意見交換し、それぞれ発表を行った。頸城区は過疎地域ではないが、上越市創造行政研究所から外から見た頸城という話を聞いてみるのもいいと思う。市議会の一般質問でも、これをモデルとして取り組みたい区があれば後押しするとの答弁もあった。頸城区内で参加者を集めること自体難しいと思うが、このようなきっかけがあれば人も集まり、いろいろな意見が聞けるのではないかと思う。以前、地域協議会でも各地区を回って意見交換を実施してきたと思うので、もう一度そのようなやり方で頸城区にお住まいの方の意見を聞くことも試してみたらいいと思う。

【上村会長】

他にないか。

いろいろな方法があると思うが、船木委員から過疎地域でないという線引きがあったとおり、この上越市創造行政研究所の事業では頸城区にはかかってこないかと思う。皆さんの中でこれ以上意見がなければ、新保副会長、西巻委員から話が出たように、以前、地域協議会で地区を分けて意見交換を実施しテーマを拾い上げた経験もある。このまま漠然としていても前に進まないの、まず町内会長の全体会議があるのであれば意見交換をさせてもらい、町内で問題点・希望等を拾っていくのも一つの手法かと思う。いかがか。

【新保副会長】

頸城区に町内会は55あるので、それを一堂に介して地域協議会と話をするという事は現実的ではない。町内会長協議会の中で把握している課題があれば、そこの代表者や町内会長の数人と話し合いをするというような情報の集め方でもいいと思う。町内会長協議会で課題等があるのなら、本庁の担当課へ繋げるとか、それを更に地域協議会の中でバックアップすることも可能だと思う。

【上村会長】

新保副会長が言われたように55町内会が一堂に介しては大変である。何年か前に

地域ごとに出前トークみたいなことを実施し意見を聞いた経緯があるが、そのような手法も一つかと思う。先般、委員から頸城区は森林が多いので、それを活用して何かできないかという意見が出されたが、それを具体的にどのように進めるかのビジョンがないと市へ意見書として提出できない。そのようなことも含め皆さんいかがか。

【船木委員】

少し話がずれるが、くびきの祭典でくびきの押し寿司が復活して販売されていた。昔は越後湯沢駅で販売していて関東の方にも人気だった。復活されているのであれば、頸城としてバックアップしていけたらいいと思った。

【上村会長】

他にないか。

【望月委員】

町内会長協議会の3役と地域協議会委員数名でとりあえず話をするのはいかがか。実は民生委員も老人会も同じで、その組織に特化した多くの悩みがある。今日も民生委員の研修会があったが、その人たちが持っている悩みをきちんと拾い、地域協議会でまとめ市へ届ける必要があるのではないか。以前、地域協議会が実施したように地域に出かけて話を聞きに行った場合、いろいろな意見が出しまい收拾がつかなくなる。

それならば、町内会、老人会、民生委員というよう専門分野に分けて意見交換する方がいいのではないか。船木委員の意見にあった押し寿司の復活ができないかも含め、地域協議会が仲立ちして市に伝えるという作業ができると思う。意見交換の趣旨をその組織にしっかり伝え、意見を聞いた後にどのように取り扱うのかを決めておかないと、意見を聞くだけで終わってしまう。地域協議会委員は14人いるのだから、いい方法がかならず出てくると思うので、そのような取り上げ方をしていってほしい。それと5本柱を作ったが、それとの整合性を取る必要があるのか、また、取らなくていいのか、そのようなことも考えながら進める必要があると思う。

【上村会長】

4人の委員から意見が出たが、少し整理をさせてもらい事務局と相談して、どのような方法がいいのか整理したい。望月委員から話があったように、いろんな団体と話をしたいが、どのような方法で支援したらいいのか、専門職は専門職の悩みがあるので、それが地域協議会の土俵に上げて議論していくものなのかも含め判断したい。かつて公民館事業の件で意見交換した時は、地域協議会は入ってこないでほしいと言わ

れたこともあった。これらの意見も踏まえ1月の定例会くらいまでに任せてもらえるなら、事務局と会長、副会長で方向性を決めていきたいと思う。事務局いかがか。

【渡邊次長】

皆さんからの議論も踏まえ会長、副会長と相談させてもらい、どのような形がいいのか、いくつかのパターンがあると思うので、案を作成した後に会長、副会長に相談の上、皆さんへお示しさせていただきたいと思う。

【上村会長】

この議題については事務局から申し上げたように、私どもの宿題という形で任せてもらい、少しずつ前に進めていけたらと思うがいかがか。

- ・異議なしの声。

それでは次第3(1)自主的な審議で取り組むテーマについてはこれで終了とする。次にその他に入る。事務局説明願う。

【渡邊次長】

前回の地域協議会でも少し説明させていただいたが、令和6年度は地域独自の予算事業で、外国人市民の児童生徒への学習支援ということで、わくわくクラブの先生方から実施していただいた。令和7年度は地域独自の予算事業に提案していただいたものの、これは市全体で実施すべき事業として、名称を外国にルーツのある中学校生徒への学習支援事業として、教育委員会主催で実施している。委員の皆さんからは、この事業の現在の状況について、話を聞きたいとご意見をいただき、現在日程調整をしているところである。次回の地域協議会は先程の自主的な審議事項の話もあり、その審議が終わったあと勉強会として開催したい。

【上村会長】

外国にルーツがある中学生との学習支援事業の意見交換ということで、関係者が揃う1月13日(火)、または1月14日(水)で設定させていただきたい。時間は午後6時30分からの開催ということでお願いしたい。

前段に申し上げたように、自主的な審議については継続審議となっており、当然1月も議題として設けたいと思う。

【渡辺班長】

- ・頸城区町内会長協議会主催 小菅市長との対話集会 について説明

日時：令和8年2月3日(火) 午後4時から午後5時まで

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-530-2311 (内線 212、213)
E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。